

つづき あい 通信

今号の内容

第16号



つづきあい計画

地域で活躍している活動紹介

スポーツ吹き矢 ふれあい会食会

あなたも地域活動のリーダーに!

シニア☆スター養成講座

「つづき あい基金」の紹介

おしえて!「つづき あい基金」

「つづき あい通信」は、都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」※を推進する地域の取組や、関連情報を紹介する計画情報誌です。

※裏表紙に詳細を説明しています

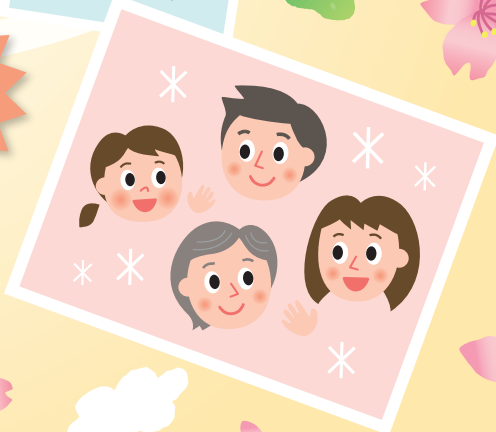


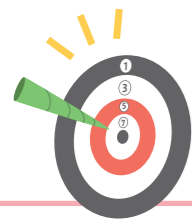
第3期計画がスタートして、もうすぐ1年。
計画を推進する地域の取組や体制づくりが、
着実に進んでいます。

狙いを定めて…



当たった!





ささえ合い! 健康!! 吹き矢!!!



柚木荏田南地区社会福祉協議会（以下、地区社協）は葛が谷地域ケアプラザと共催で、荏田南自治会館を会場にスポーツ吹き矢を行っています。

吹き矢を通して介護予防の取組を進めるとともに、顔の見える関係づくりを行うことでささえ合いのきっかけを作っています。

3



2 呼吸を整え...

当初はモデル的に月2回×3か月で行いましたが、大好評だったので今後は同好会を立ち上げ、地区社協がバックアップして継続していく予定です。

地域のみんで、

いつまでも元気に過ごすこと
お互いをささえ合うこと

を目指して取り組んでいきます。



1 しっかり準備!



4 何点かな?



5 最後はみんなで輪になってリラックス



ふきのとう「ふれあい会食会」

ボランティア団体ふきのとうは、東山田地域ケアプラザで毎月2回「ふれあい会食会」を行っています。

一人暮らしの高齢者に、栄養バランスのとれた食事をしながら交流を楽しんでいただくことを目的として平成8年に発足しました。

現在は、昼食後に体操やゲームなどを行うことで参加者の交流を図っていて、夫婦で毎回参加されるなどの常連さんも増えています。



本庄さん（ふきのとう会長）

ふきのとうは現在、11名（女性9名、男性2名）で活動しています。活動に参加してくれる意欲のある方を募集しています。

第1部 歓談しながらの楽しい昼食会



メインメニュー

都筑野菜と
鶏肉の炊合せ

都筑野菜など季節の新鮮な食材を使用して、栄養バランスのとれた献立を考えて調理しています。



【調理をするメンバー】

第2部 体操やゲームなどの様々なレクリエーション



手のひらを
上に向けましょう

つづいて、
片足を上げてー



うさぎ?

だまし絵です。
何に見えますか?

アヒル?

あなたも地域活動のリーダーに!

～シニア☆スター養成講座開催報告～

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護予防・認知症予防などに取り組む活動のリーダーを育成する「シニア☆スター養成講座」を開催しました。

この講座に参加した方々は、今後、地域におけるさまざまな活動のリーダーとして、力を発揮していく予定です。地域ケアプラザや区社会福祉協議会、区役所は連携して、この新たなリーダーたちが身近な地域で活動の場をもち、グループ間のネットワークを構築していけるよう、活動を支援していきます。



▲「私、こんな活動をやってみたいです」グループワークで自分が考えた地域活動のプラン（「実行プラン」）を発表し合い、意見交換を実施。

プログラム

1回目	自分の思いを“まちの輪”につなげよう どんな地域をつくりたい?どんな活動をしてみたい?
2回目	“まちの輪”いろいろ 想いを実現するために知っておきたいこと
3回目	“まちの輪”体感 都筑区内の“まちの輪”（活動の場）を実際に見てみよう! （認知症カフェ、配食サービスグループなどに参加しました。）
4回目	これからどうする?活動のステップ “まちの輪”見学どうだった?
5回目	実行プラン応援します 実行プランを共有しよう!
6回目	実行プランの発表&修了式 区長も参加したプラン発表会

講師



認定NPO法人
市民セクターよこはま
吉原明香さん



NPO法人れんげ舎
長田英史さん



▲検討を重ねて考えた具体的な実行プランを最後に発表。それぞれの思いが詰まっています。



活動見学は
とても貴重な体験でした。
また参加したいです。

講義をうけるだけでなく、
グループで行うワークショップもあり、
楽しく参加できました。
会議の進め方など早速グループに
活用したいと思います。

「こんなことできたらいいな」と
考えていたことを計画書にしてみると、
実現にぐっと近づいたように感じます。
土地区ケアプラザの方に
相談しながらすすめたいです。



▲修了証を手にする皆さん

今後の活動を
サポートする生活支援
コーディネーターの皆さん



地域のみなさんの
パワーはすごいなと思いました。
いっしょにプランを実現したいです。

おしえて! 「つづき あい基金」

「つづき あい基金」では、都筑区地域福祉保健計画に定めている目標を実現するために、地域の福祉保健に関する課題解決に向けた活動を行う団体に対して、活動経費の一部を助成しています。助成を行うことにより、都筑区地域福祉保健計画の推進を資金面からバックアップしています。



平成18年度

都筑区福祉保健
活動補助金

平成18年9月～

つづき あい基金
誕生

平成19年度

つづき あい基金
活動助成開始

配食サービス

地域の
つながりづくり

障害児余暇
支援

認知症カフェ

こども食堂

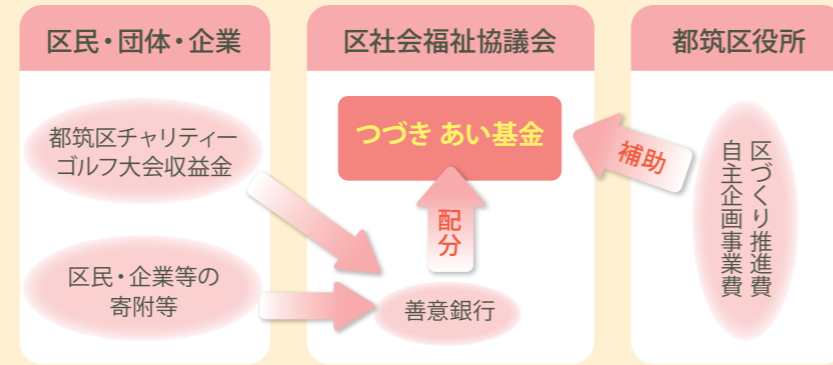
* 様々な活動が行われ、
その輪も広がっています *



そもそも

「つづき あい基金」ってなに?

「つづき あい基金」は、都筑区地域福祉保健計画の推進のために地域で実施されるさまざまな福祉保健活動の支援、計画のPR等を目的として、平成18年9月に設置されました。この基金は、都筑区チャリティーゴルフ大会の収益金を主な原資とし、それに加えて、区役所からの補助金、善意銀行からの配分金等で構成されています。



それでは

これまでの実績は?

- ①活動団体への助成**
「つづき あい基金」の前身の都筑区福祉保健活動補助金からの助成を含めると、平成28年度までに46活動の助成を行ってきました。
- ②都筑区地域福祉保健計画のPR**
第3期都筑区地域福祉保健計画の地区別冊子の制作・印刷をはじめ、横断幕やのぼり旗、ステッカー等を作成し、計画のPRを行っています。



おしえて!

どのような活動が助成してもらえるの?

都筑区地域福祉保健計画に掲げる取組の推進に寄与できる活動が対象となります。次回の募集は平成29年4月頃を予定しています。詳しくは、都筑区社会福祉協議会 (☎045-943-4058) まで、お問い合わせください。

お知らせ



中高生のための夏休みボランティア はあとdeボランティア

9回目の開催となった、はあとdeボランティア「考えよう!今、自分たちにできることを…」をスローガンに、242名もの中高生が、約120のプログラムの中から自分に合った活動を選んでボランティア体験をしました。また、今回から初めて小学5～6年生向けのプレコースも始まりました。

オリエンテーションの時のちょっと緊張した表情が、修了式では少し成長した表情に変わっていました。参加者一人一人が体験を通じて達成感を持つことができたことは、夏休みの大きな収穫だったのではないのでしょうか。平成29年の夏休みも、「はあとdeボランティア」への多くの参加をお待ちしております!

プログラムの例

- 地区センターなどの区民利用施設や高齢者・障害者施設でのボランティア
- ボランティアグループ、ハマロードサポーター、子育て支援の取組のお手伝い など



▲オリエンテーションの様子

ボランティア
がんばるぞ。
お〜!

相手の役に立てて、
色々な人と交流が出来て、
そしてなにより自分が
すごく楽しかった!

普段は関わりがない人と
一緒に楽しむことができ
貴重な体験だった!

将来の夢につなげられる体験が
できて、学んだことが多かった!

主催: つづきMYプラザ (都筑多文化・青少年交流プラザ) 都筑区青少年指導員連絡協議会 都筑区社会福祉協議会

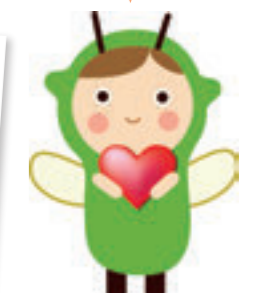
第17回都筑区チャリティーゴルフ大会より 「つづき あい基金」へ、寄付をいただきました!

平成28年度で第17回を迎えた大会ですが、台風の接近に伴い中止となりました。しかしながら、参加者及び協賛者・社からの協賛金を寄付金に充て、贈呈いただきました。

- 参加予定人数: 192名
- 協賛: 65者・社
- 寄付金額: 50万円



ありがとうございます!

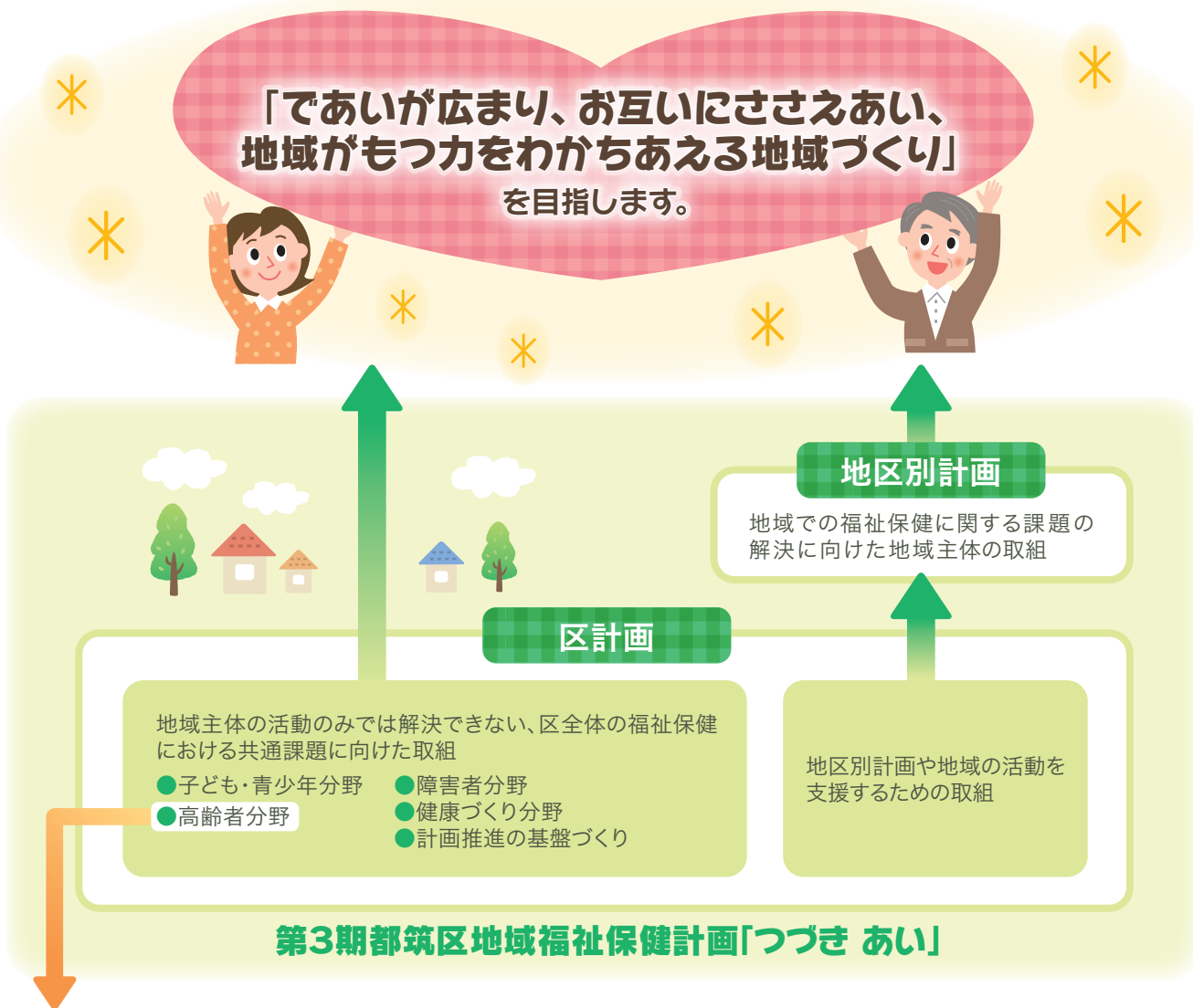


第3期 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」は 2つの計画でできています。

第3期都筑区地域福祉保健計画は、「地区別計画」と「区計画」で構成されています。

「地区別計画」は、連合自治会町内会や地区社会福祉協議会をエリアとし、地域での福祉保健に関する課題の解決に向けて地域が主体で取り組む計画です。

「区計画」は福祉保健に関する区全体の共通課題解決に向けた取組とともに、「地区別計画」や地域の活動を支援する計画となっています。



高齢者分野の取組について話し合う場（高齢者部会）開催報告

平成28年12月8日（木）に、医師会、連合自治会町内会、社会福祉協議会、老人クラブ、介護事業者など、区内の高齢者支援に携わる方が集まり、「高齢者部会」と「区レベル地域ケア会議」を合同開催しました。

最初に各地域ケアプラザから、地域の課題について報告がありました。その後、出席者から現在の取組の紹介、他団体への期待について、意見交換を行いました。

主な意見

- 介護や医療が必要になる前に、介護予防や健康増進に取り組むことが大切である。
- 介護サービスを利用すると、今までの地域とのつながりが切れてしまうことが課題。ケアマネジャー等の事業者と地域が積極的に連絡を取り、互いの理解を深めることや連携の場をつくる必要がある。

今後も住み慣れた地域で高齢者が安心して過ごせる仕組みづくりを検討していきます。

